

千尋に思う今の時代

取締役 愛媛事業所長 兼 大阪事業所長、岡山事業所担当 住吉 和夫



以前、テレビで「千と千尋の神隠し」を見た。初めは、たかが子ども向けのアニメだと思っていたが、気

が付くと映像の中、不思議の世界に自分がいた。観客2000万人を動員し、2003年アカデミー賞アニメ映画部門のオスカーを獲得したのを知ったのは後日だった。

主人公は10歳の少女千尋。両親と引越しの途中、迷い込んだトンネルの向こう側には、人間の来るべきではない世界が広がっていた。そこは八百万の神々が疲れを癒しに訪れる湯屋のある町、異界であった。果たしてここで千尋は生き抜き、両親を助けて、元の世界に戻ることができるのだろうか。

そのために、湯屋を支配する湯婆婆に名前を奪われて「千」として働くしか道がない。ここで様々な経験を。特に印象的なのがオクサレサマやカオナシとの出会いである。

オクサレサマはヘドロまみれ、臭くて臭くて湯屋中が大騒ぎ。千尋が懸命になってきれいにすると、ゴミが怒涛のように出てくる。実はオクサレサマは川の神様で人間の廃棄物で汚くなっていたのだ。千尋はこの浄化過程でどんどんいきいきしてくる。きれいになった川の神様は、白蛇となって空に昇って帰っていく。働くという意味、

その後の達成感、他者から認められた充実感、子どもの内的な体験として非常に意味のある象徴的な場面だったと思う。

もうひとつはカオナシ。インパクトの強いオクサレサマとちがって得体のしれなさ、存在感の薄さで逆に目を惹く。「ア、ア…」というだけで言葉をもたないが、人の声を借りてときどき「寂しい…」そして金をばら撒いて人を自分の支配下に置こうとするところなど、どうも現代社会のネガティブな側面のような。突如キレルというのも現代が抱えている問題かもしれない。体験としての積み重ねができないから、キレテ今までをすべて無にしてしまうのだ。

カオナシは千尋について銭婆のもとに行く。湯婆婆と双子の銭婆は性格が正反対である。優しく、思いやりがある。銭婆は、カオナシの主体性のなさを即座に見抜き、自分のもとにおいて働かせるようにする。さて、カオナシはカオを持つことができるのだろうか...

普通、人間にも組織にも会社にもカオがある。自分というものが確立して初めてカオを持ち、その人となりが出来上がる。アイデンティティの確立というのは昨日の自分も、今の自分も、未来の自分も同じ自分であるという認識のもと、自分はなにものかを見つけることである。人間は人生の節目節目でこれを確立していく。視点を人間の集合体である社会に移せば、今という

複雑、不透明な時代が抱えている課題をどう克服していくかということに重なっていく。

ところで当社は分析技術情報サービスを行っている。コンプライアンス(法令遵守)と社会的責任を理解して社会に貢献するという理念を持っている。これは会社のカオとして確立しているものである。

ダニエル・ベルというアメリカの社会学者が「工業社会」から新しい技術が台頭する「情報化社会」に移行すると予測したのは30年以上前。まさにその時期(1972)に当社は分析受託サービス機関として誕生した。いわば当時からしさを象徴した企業のカオを持った。しかしカオは時代を無視しては維持できないし、技術革新は想像以上に高速度であることを忘れてはならない。よりお客様の信頼を得るためには、イノベティブな姿勢、科学的な考え方、データの品質保証、国際的整合性、お客様の満足度、機密の保持をコンセプトに、何よりも当社の専門技術を高めることにかかってくると思う。

話を千と千尋に戻そう。彼女は今の時代にアイデンティファイしていくためのヒントをくれた。全霊をかけて達成したものに自信を持ち、他の人には見えないカオナシに気がついた。技術、専門性を高めることは、それだけにとどまらず見えていなかったものを気付かせてくれるのではないか。それはこの時代の風を読むということに繋がっていくだろう。



千葉事業所と愛媛事業所は、ISO 17025に基づく認定事業所で、環境分野や化学工業製品分野などにおける特定項目の認定を受けております。
千葉事業所の認定番号: JCLA1
愛媛事業所の認定番号: JCLA5

当社事業所はISO-9001およびISO14001の審査登録も受けています。

千葉・筑波事業所: JQA-1105 / OIER-171
大阪・岡山事業所: JQA-1814
愛媛事業所: JCQA-0253 / JCQA-E-0465
大分事業所: JQA-QM3707 / JQA-EM2093
ファーマ事業所: 医薬品GLP
大阪事業所: 農業GLP

編集後記

SCAS NEWS 2006- 号をお届けいたします。今回は、京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科教授の山岡 亮平先生に「MSはドラエモンのポケットか?」と題して巻頭言を賜り、今後の分析受託業にとって示唆に富んだご提言をいただきました。また独立行政法人 物質・材料研究機構の松井良夫先生には「高性能電子顕微鏡の開発と先端機能材料

への適用」について開発経緯から最近の研究成果の一端をご紹介いただきました。その他、関連テーマの技術報告やSCAS NOW、トピックス、法律ウォッチャー等もご紹介させて頂きました。

今後も、お客様の期待に応えられるよう当社の最新分析技術情報を提供してまいりますので、ご愛読のほどよろしくお願ひ申し上げます。 M.S

編集・発行 株式会社住化分析センター 発行日 2006. 8. 28 2006- (通巻24号)
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋 4-6-17 TEL06-6202-1807 FAX06-6202-0116
ホームページ <http://www.scas.co.jp> E-mail: webmaster@scas.co.jp

はアインシュタインの疑問符です。彼のあくなき好奇心と探求心こそが、宇宙真理発見の原動力だったのかも知れません。

SCAS Sumika Chemical Analysis Service

東京営業所	TEL 03-3257-7201	大分営業部・大分事業所	TEL 097-523-1181
大阪営業所	TEL 06-6202-1000	大阪事業所	TEL 06-6466-5247
名古屋営業所	TEL 052-952-8969	筑波事業所	TEL 029-864-4741
医薬事業本部 営業部(東京)	TEL 03-3257-7201	医薬事業本部 ファーマ事業所	TEL 06-6466-5246
医薬事業本部 営業部(大阪)	TEL 06-6202-1000	環境技術センター	TEL 0438-63-6176
千葉営業部・千葉事業所	TEL 0438-64-2281	医薬事業本部 バイオ技術センター	TEL 06-6466-5251
岡山営業部・岡山事業所	TEL 086-477-8103	SCAS SINGAPORE PTE LTD.	TEL 65-6899-3819
愛媛営業部・愛媛事業所	TEL 0897-32-3411		

本誌は再生紙を使用しています